

NEWS RELEASE

2023年 ニッケグループ代表 年頭挨拶

皆さん明けましておめでとうございます。

新しい年である2023年が始まりました。
皆さんにおかれましても、気持ちを新たに新しい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。
年末年始も勤務をされていた皆さん、たいへんご苦労様でした。



年頭にあたり、ニッケグループの皆さんへご挨拶を申し上げます。

本年も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、動画による配信としました。

さて、私たちを取り巻く環境を見ますと、新型コロナウイルス感染拡大は全世界に影響を及ぼし、未だに収束の気配は、見せておりません。ワクチン接種の進展やウィズコロナ政策へのシフトなどを背景に、国際的な往来再開に向けた動きが活発化していますが、一方中国では感染者が急増し、一部地域ではロックダウンも行われていました。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻の影響などから、エネルギー価格の高騰、原材料・部材の不足・高騰、物流の混乱など、先行きの不透明感は以前にも増して大きくなっています。国内においても物価高騰に円安も加わり、企業業績や個人消費に更に影響を与えているのが現状です。

昨年2022年度は第2次中期経営計画の中間点であるとともに、RN130ビジョンへの折り返し地点でもありました。当初計画である売上高1,150億円、営業利益102億円に向け、このような厳しい環境の中で事業を推し進めてきましたが、営業利益は目標達成に向けて順調に推移してきました。ニッケグループの各事業・各社が、変化する市場と迅速に向き合った結果であり、改めてニッケグループの事業推進エンジンは、グループ各社であるということを再認識しました。皆さんのチャレンジとその成果に感謝いたします。

さて、社長就任1年目となった昨年は、最前線で戦う皆さんと対話をするために、可能な限りの拠点巡視を行いました。ウィズコロナ・アフターコロナに向けた諸施策の進捗状況や成長戦略を皆さんから直接伺い、共に共有できたことを嬉しく思います。今後も各社が創意工夫や強みを生かした取組みで、事業拡大を推し進めてもらいたいと思います。

当社グループにとって2023年度は第2次中計の最終年度であり、RN130ビジョンに向けての総仕上げとなる第3次中計の策定に取り掛かる年でもあります。経済回復には、なお時間がかかり、2023年度もこの不透明な状況が続くと予想されます。現在の為替や物価高も当面続くでしょう。そこで、今後ニッケグループで行っているものづくりは、品質管理、納期管理の点でもメリットのある「国内回帰」を目指します。一方、販売先は、欧米をはじめとした海外に重点をおきます。現在の状況変化をニューノーマルと考え、チャンスと捉えてRN130ビジョン、更にその先に向けての成長ドライバーを見出すべく取組んでもらいたいと思います。

また、これからの時代の企業戦略にとって、環境対応や多様性を認め合う「SDGs」は、不可欠な要素となっており、ニッケグループも積極的に取組んでいきたいと思っています。

2023年経営方針の中では特に、「商品開発や合理化・省エネ設備への投資」、「顧客拡大投資」、「人財投資」を重点方針としています。各事業が「みらい生活創造企業」に向けて事業を推し進める環境作りを行い、グループ社員の皆さんが情熱と誇りをもって仕事に取り組める魅力的な企業づくりを進めていきたいと思っています。

また、昨年12月に、ニッケグループのイノベーション推進、新規事業開拓を目指す組織として「みらい創造室」を設置しました。未来に育つ事業を探索、創造することにチャレンジしていきたいと考えています。

今年の干支は「卯（うさぎ）」です。卯（うさぎ）は、その姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとされています。不透明な経営環境下ですが、自分自身の成長のスピードやレベルを一段高いものに引き上げ、ニッケグループの更なる飛躍の年としましょう。

最後に、今年もニッケグループの皆さんとそのご家族のご健康とご活躍を祈念しまして、新年の挨拶といたします。

ニッケグループ代表
ニッケ 代表取締役社長 長岡 豊

《本件に関する問い合わせ先》

ニッケ 総務法務広報室

室長 松本 義子

Tel : 06-6205-6601